

北区障害者地域自立生活支援室より

# 支援室だより

第64号 (2014年2月発行)

【年6回偶数月月上旬発行】

## 相談窓口

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 障害者福祉センター内

TEL:03-3905-7225 TEL・FAX 兼用:03-3905-7226 E-MAIL:peernet@ma.kitanet.ne.jp

開所日時:月～金 10時～19時 土 10時～17時 \*日・祝・年末年始は休み

“支援室だより”は印刷されたもののほか、視覚に障害のある方のために、「ろくせいかい点字サークル六星会(福祉センタークラス)」のご協力で **点字版** を、「音訳グループやまびこ」のご協力で **音訳版** を作成しています。ご希望の方は支援室までご連絡ください。(TEL・FAX 兼用:03-3905-7226)

## 今号の内容

- 「介護職員が行える医療的ケアの範囲」のご案内・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 「支援者へのバトン」を作成中です・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ハンドメイド教室<<後期>>のご報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- きょうだいの本音～障害者のきょうだいの声を聞こう～を開催しました・・ 4～5
- 【情報提供】アイメイト協会のご紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～7
- 【情報提供】バリアフリー映画会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 【情報提供】第13回子どもの福祉用具展 2014のご案内・・・・・・・・・・・・ 8

## 「介護職員が行える医療的ケアの範囲」のご案内

平成24年4月より、介護職員による喀痰吸引と経管栄養が、一定の条件のもとで認められました。医療的ケアの対応についてまとめたパンフレットを作成しましたのでご利用ください。内容は以下の通りです。

1. はじめに～介護職員が行える医療的ケアとは～
2. 医療行為にあたらぬ項目
3. 平成24年4月から可能になった医療的ケア
4. 介護職員による喀痰吸引・経管栄養実施のための制度概要

～介護職員が行える医療的ケアQ&A～

支援室で無料配布しておりますので、ご希望の方はご連絡ください。



# 「支援者へのバトン」を作成中です

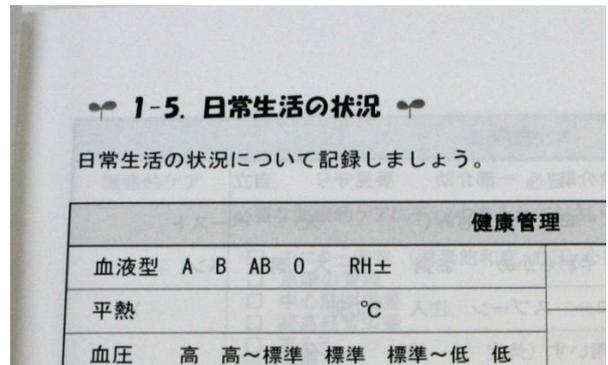
現在支援室では、重度重複障害がある方のご両親を対象に、「支援者へのバトン～障害がある人の親の気持ちを綴る書き込み式記録帳～」を作成しています。この記録帳は、親亡き後も障害のある方が安定した生活を営むことができるよう、日常生活の状況や、将来の暮らしに対する親の意向を記入しておくものです。記録帳があれば、親に万一のことがあった時でも、本人の暮らしを周囲の方に引き継ぐことができます。完成は4月頃を目処にしておりますが、今号では、掲載予定の内容をご紹介します。

## 支援者へのバトン ～障害がある人の親の気持ちを綴る書き込み式記録帳～



第1部、第2部、第3部の三部構成です。  
記入の手助けとなるよう参考資料も入っています。

項目ごとの解説や例に沿って記入していきます。  
福祉や医療の記録は、コピーをいれることも可能です。



### ～記録帳の内容～

#### 第1部

##### 自己紹介

人間関係、日常生活の状況や必要な支援等、現在の様子を記入。

#### 第3部

##### 将来の暮らし

今後の住まいや経済管理等、どのような生活を希望するか記入。

#### 第2部

##### 福祉・医療情報

これまでに利用した福祉制度や医療サービスについて記入。

#### 参考資料

成年後見制度の概要、ホームヘルパーの利用について、介護職員が行える医療的ケアの範囲、等

### ～記録帳の使い方～

1. 解説や例に従って記入。書けるところ、必要なところから優先的に進めます。
2. 親戚や通所先の担当者等にノートがあることを伝え、場所を決めて保管します。年月が経って変更があれば、その部分を追加・訂正します。

※この記録帳は、障害がある方ご本人の生活について記入するものです。親自身のエンディングノートではありません。

## ハンドメイド教室《後期》のご報告

11月～12月にかけて、ハンドメイド教室を開催しました。

今回は、①オリジナルカレンダーづくり、②クリスマスリースづくり、③サンドイッチ&クリームシチューづくりをしました。

毎年恒例となったオリジナルカレンダーづくりは、季節ごとのイラストを貼ったり、自分で絵を描いたり、各々個性あふれるカレンダーができあがりました。中には、家族の誕生日をしっかりとカレンダーに書きこんでいる方や、「友人にプレゼントする」と言って丁寧に作り上げている方もいました。

クリスマスリースづくりでは、たくさんある飾りの中から自分で好きな飾りを選ぶところからスタートしました。ピンク系にまとめた人、オレンジや黄色を使って明るい感じの色合いにした人。どんなバランスで飾り付けるか、いろいろと悩みながらとても素敵なリースが完成しました。



出来上がったリースを持って♪

最後はサンドイッチとクリームシチューづくりです。この日だけ、集合時間を早めて10時スタート。みんなで近くのスーパーに買い出しに行き、調理をしました。初めは包丁を持つことを怖がっていた方もいましたが、一緒に調理をしていくうちにどんどん慣れ、上手に野菜を切ってくれました。サンドイッチはみんなで話しタマゴ、ハム&野菜、イチゴジャムの3種類を作りました。ちょっと多く作り過ぎたかと思いましたが、自分でつくった料理はいつも以上に美味しいのか、みなさん「美味しい、美味しい♪」と完食。みなさんの食欲にちょっとビックリしましたが、きれいになくなったお皿を見て嬉しくなりました。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



次回のハンドメイド教室は4月号の支援室だよりでお知らせ致します。

## きょうだいの本音～障害者のきょうだいの声を聞こう～を開催しました

1月11日(土)にきょうだい支援の会の代表有馬靖子氏をお招きし、「きょうだいの本音～障害者のきょうだいの声を聞こう～」を開催しました。有馬氏には脳性マヒの妹さんがいらっしゃる、きょうだいに対する支援の少なさに危機感を持ち、きょうだい支援に関する講演会等を精力的に行っていました。

今回の講演会では、きょうだいにはなぜ支援が必要なのか、きょうだいの持ちうる悩みと人間的成長の可能性、悩みを減らすために親やサービス提供者ができることについてお話いただきました。



講師の有馬靖子氏

### ●きょうだいにはなぜ支援が必要なのか



きょうだいが子どもの頃は大人と違って情報収集能力がありません。自分以外の障害児のきょうだいに逢う場面も少なく、悩みを1人で抱えてしまいがちになります。

また、親が障害児の世話で大変な場面を見ていたりするため、自分は良い子でいようと我慢する場面も増え年齢に不相应な責任感を持ってしまいがちです。

大人になってからは、親亡き後の障害者の親代わりの担い手としてきょうだいは重要なキーパーソンです。それなのに、きょうだいに対する支援が不足しているため、親亡き後にきょうだいが増える責任等に対して不安を抱えています。

### ●きょうだいが増える悩みとその対策

#### 【幼年期の悩み】

親との時間が少ない、通常のきょうだい関係を持ちにくい、世間の目、子ども向けの情報不足、仲間と出会えない、親の役に立ちたいという気持ちが強い

対策⇒健常児との時間を作り、甘える機会を設ける。障害児と健常児はできるだけ平等に接する。障害児にできることはやらせる。きょうだいをきちんと褒める。きょうだいにも障害の状況等の情報提供をし、子どもが質問しやすい環境をつくること。



#### 【思春期の悩み】

世間の目、仲間と出会えない、通常のきょうだい関係を持ちにくい、中学生・高校生向けの情報不足、友達と過ごすなど外の世界との時間が増える

対策⇒年齢に応じた情報をきちんと伝える。きょうだい自身の人生があることをきちんと伝え、勝手に期待はしない。

## 【成人期の悩み】

世間の目、仲間と出会えない、通常のきょうだい関係を持ちにくい、きょうだい向けの情報不足、親代わりという責任

対策⇒障害児の将来の計画を立て、きょうだいに伝える。または一緒に計画を考える。きょうだいが複数いる場合は、1人にだけ負担がかかり過ぎないようにする。



## ●きょうだいの人間的成長の可能性

障害児のきょうだいは人間的成長の可能性を持っています。年齢以上の責任感や人生の深い理解、他人との違いを受け入れる寛容力など、障害児のきょうだいがいたからこそその経験を経て、身につけています。この成長の可能性を広げるためにも、きょうだいへの支援は重要なのです。

## ●親やサービス提供者ができること

### 【親ができるサポート】

条件なしに子どもを認めること。健常のきょうだいと1対1の時間を持つこと。兄弟姉妹の障害について子どもが質問しやすい雰囲気をつくること。子どもの悩みを否定しないこと。

### 【サービス提供者ができるサポート】

きょうだいのためのプログラムを実施すること。レスパイトケアを充実させること。きょうだい向けの情報を発信すること。



今回の講演会の参加者の方からは、「なかなか、こういったテーマの話聞く機会がないので、今後どうすればよいのか、何をすべきなのか分からなかった親にとって、大変参考になった。」「きょうだい支援の会というものがあることがわかりとても良かった。障害者のきょうだいの悩みが自分一人のことでないとわかり、気持ちが楽になった。」などの感想を頂きました。

障害者のきょうだいに対する支援は残念ながら、まだまだ多くはありません。しかし、今回の講演会を通じて、きょうだいに対する支援の大切さを痛感しました。

支援室では、今後も障害者のきょうだいをテーマにした学習会等を開催していきたいと考えております。ご意見・ご要望などございましたら、ぜひお知らせください。



講演会の様子



## アイメイト協会のご紹介

昨年開催された障害者作品展において、支援室では点字用紙をリサイクルし作成した、ポチ袋やギフト袋、カレンダー等を販売しました。その際の売り上げをアイメイト協会へ寄付させていただいたところ、感謝状を頂戴いたしました。

そこで今回はアイメイト協会についてご紹介したいと思います。

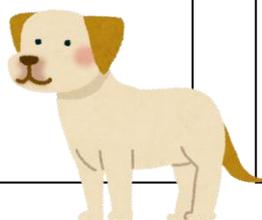


公益財団法人アイメイト協会は、日本盲導犬事業の先駆者で、日本最大の実績を上げている協会です。創設者塩谷賢一氏により、1957年に国産第一号の盲導犬「チャンピイ」を送り出しました。これまでに、1216組のペアが卒業しています。

## ●アイメイトへの道のり●

### 1. 誕生

アイメイトの赤ちゃんは繁殖奉仕というボランティア家庭で産まれます。生後2カ月まで、母犬と兄弟姉妹と一緒にすくすくと育ちます。現在はラブラドルレトリバーという犬種がほとんどです。



### 2. 成長

生後2カ月を過ぎると、飼育奉仕というボランティア家庭に1頭ずつ引き取られます。大人になるまでの約1年間、家族の一員として愛情をいっぱいを受け、元気にのびのびと成長します。その間は特別な訓練は行いません。

### 3. 訓練

訓練は大きく2つ。従順な心を養う「基礎訓練」とハーネスを装着しての「誘導訓練」です。およそ120日にわたる訓練で、アイメイトとしての心技体を備えていきます。



### 4. 歩行指導

訓練を終えたら、視覚障害者と一緒に歩くための「歩行指導」が始まります。視覚障害者が4週間、協会に泊まり込んで、実際の道路で行われます。信号の渡り方、電車やバスの乗り方など、視覚障害者がアイメイトを伴った正しい歩行方法を体得します。

### 5. 活躍

卒業の日、視覚障害者とアイメイトはたった2人だけで遠い家まで帰ります。これから長い時間を、この2人のペアで過ごします。仕事や買物、家の中…、どこに行くにも一緒です。



### 6. リタイア

視覚障害者と一緒にたくさんの道を歩いてきたアイメイト。しかし、時が過ぎれば必ず「老い」が訪れます。引退した後は、リタイア犬としてボランティア家庭に引き取られ、再び新しい家族の一員に。たくさんの愛情のなかで、静かな老後を過ごします。

## なぜ「アイメイト」と呼ぶのか？

アイメイト協会出身の犬は、「盲導犬」ではなく「アイメイト」と呼んでいます。「盲導犬」という言葉からは、利口な犬が盲人を導いていると受取りがちですが、実際は、十分に歩行指導を受けた視覚障害者からの指示を受け、人と犬とが協同で移動を実現しています。アイメイト協会では、「私の愛する目の仲間」という意味を込めて「アイメイト」と呼んでいるそうです。



## バリアフリー映画会のご案内

北区立中央図書館でバリアフリー映画会が開催されます。バリアフリー映画会は、「見ること」、「聞くこと」の不便な方も一緒に楽しめる映画会です。

# 武士の家計簿

刀でなく、そろばんで、家族を守った侍がいた。

平成 26 年 3 月 9 日(日) 14:00～

定員:50 名(抽選)

会場:北区立中央図書館 3 階ホール

費用:無料



- ・映画独自の音声のほかに、場面を説明する音声ガイドを同時に流します。
- ・セリフと場面を日本語字幕で表示します。

**対象者:**障害またはご不便がある方優先。一般の方も申込可

**申込方法:**往復はがきにイベント名、住所、氏名、年齢、電話(FAX)番号、障害者手帳、付添い人の有無を記入

**申込期限:**平成 26 年 2 月 28 日(金)必着

**申込・お問い合わせ先:**北区立中央図書館事業係 〒114-0033 北区十条台 1-2-5  
電話:03-5993-1125 FAX:03-5993-1044

## 第13回子どもの福祉用具展2014のご案内

18歳以下の子供たちのための福祉用具展「キッズフェスタ アンダー18」。車いすや歩行補助具、生活用品、衣類、福祉車両などが展示されます。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

開催日：2014年4月19日（土）、20日（日）

時間：10：00～17：00

会場：TRC 東京流通センター（東京モノレール「流通センター」駅隣接）

問い合わせ：キッズフェスタ事務局<S.P. ビームス(株)内>

TEL 03-5207-6493 FAX 03-3252-5668

来場無料



### 【アクセス】



#### □東京モノレール

##### 「流通センター」駅隣接

- ・JR 浜松町駅から10分
- ・天王洲アイランド駅(りんかい線乗り換え)から5分

※東京モノレール 空港快速は「流通センター」駅に停車しませんのでご注意ください。

### 編集後記

北区障害者地域自立生活支援室から“支援室だより”第64号をお送りしました。2014年、今年は午年です。馬は人と付き合いが長い動物で、人の役に立ち、人も馬を大切にしてきました。馬は「物事が“うま”くいく」「幸運が駆け込んでくる」と言われる縁起の良い動物です。2014年、いろんなことが“うま”くいきますように！

\* \* \* \* \*

ソチオリンピックが開催しました。フィギュアスケートやスキージャンプなどメダルを期待できる種目がたくさんありますね。メダルを獲ることも大事ですが、選手のみなさんにはケガをせず、練習してきたこと全てを出し切れるように頑張してほしいですね。☺

発行：北区障害者地域自立生活支援室 TEL&FAX:03-3905-7226